

# 学校だより

第25号 ひたちなか市立勝倉小学校  
令和7年12月9日(火)発行  
児童数 292名 実家庭227戸



12月7日は暦の上で「大雪」 本格的な冬の到来です

## 先日の授業参観・懇親会 お世話になりました

12月に入り、冬らしい日が続いています。マフラーや手袋が恋しい季節ですね。学校では、先週から今週にかけて、寒い中、朝のボランティアで6年生がいちょうの落ち葉掃きをしてくれました。登校後10分程度の活動でしたが、たくさんの子供たちの協力のおかげで、あっという間にリヤカーが落ち葉で山盛りになりました。「学校のために役に立ちたい」という気持ちが育っていることをうれしく思います。

さて、12月5日の授業参観・懇親会には、多くの方にご出席いただき感謝申し上げます。今回、市の方針で、自治的活動や話し合い活動を公開実施すること、地域公開することが示されました。地域からは6名の方がいらっしゃいました。本校では、自治的活動として、夏休みの前に「雨天や暑さで外遊びができる時とできない時の遊び方」について4年生以上が話し合いルールを決めてあります。そのため、今回の授業参観は、「教科にかかわらず、子供たちが話し合う活動を意図的に取り入れた内容」といたしました。



また、懇親会については、昨年度まで、4月初めと2月末の2回の実施でしたが、今年度は年に3回行うことといたしました。年度途中に担任と保護者の方が顔を合わせることも必要だと考えたからです。懇親会には出席いただけないかな、と心配もありましたが、今回の授業参観には80%以上、懇親会にも40%以上の出席がありました。お忙しいところご出席いただきありがとうございました。



5・3・2年生の話し合い活動の様子

## 本物に触れる大切さ

学校では、外部から講師の方をお招きして授業を行うことを積極的に取り入れています。

この1ヶ月間にも、「点字体験」「抹茶体験」「金管楽器の演奏」「薬物乱用防止教室（おくすり教室）」「命の授業」など、学年に応じ、様々な教科や領域において講師を招いてきました。



これからは、どんどん学校においてもICTが活用されていきますし、AIも進化しています。教育の場でも使われるようになるでしょう。しかし、どんなにICTが発達しても、小学校時代に、五感を使って行う体験活動は、子供たちが成長していく上でとても重要なと思っています。「人から聞くこと」と「実際にやってみること」は違いますし「画面上で聞く音」と「実際に聞く音」は空気の振動が違います。そういう体験を基に、興味・関心が高まり、もっとやってみたい、もっと知りたいという気持ちにつながることも多くあります。これからもこのような体験的な学習を大切にしていきたいと考えています。